主要統計（人口）から見る札幌市の状況、強み、弱み、機会、脅威

企画課　R3.04.22

資料５

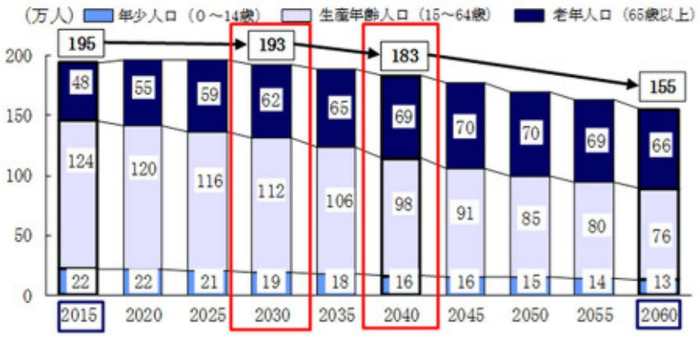
＜主要統計（人口）から見る札幌市の状況＞

○現在、社会増は維持しているものの、若年層については、道外との関係において大きく転出超過

○少子高齢化に伴い生産年齢人口の減少が進み、2040 年には総人口が 183 万人になることが予想

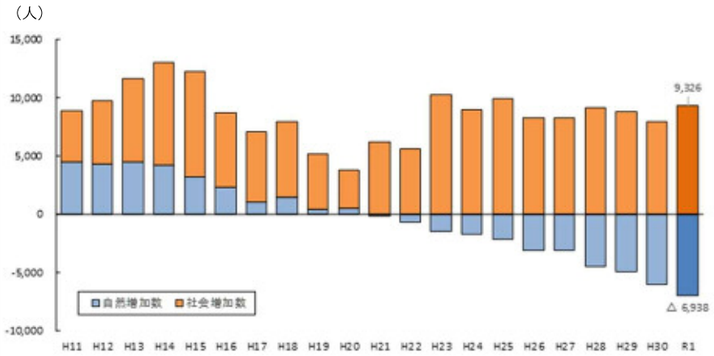
○高齢者人口は 2040 年頃にピークを迎え、約４割が高齢者と人口構造が大きく変化

◇将来人口見通し（各年 10 月 1 日現在）　総務省国勢調査、札幌市

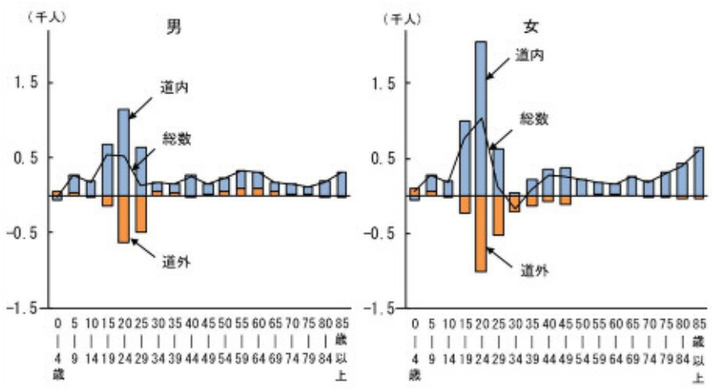


注：　2015年の総数には年齢「不詳」を含む。四捨五入により合計が一致しない場合がある。

◇自然増減、社会増減の状況　総務省国勢調査、札幌市



◇若年層の道外流出の状況　総務省国勢調査、札幌市



■Strengths（北海道・札幌が持つ強み・個性）

＜世界の中＞

○豊かな自然環境、年間６ｍの天然雪と共存する世界に類を見ない大都市

○冷涼な夏の気候（東京 2020 マラソン・競歩の開催地に IOC が決定）

○ウインタースポーツ都市としてのポテンシャル

・1972 年冬季五輪をはじめ、国際的な大規模スポーツ大会の開催実績

・IOC が求める持続可能なオリパラ開催が可能な都市

○環境面での高い評価

・国内の都市として初めて、世界的な環境性能評価システム「LEED」で、最高ランク「プラチナ」認証を取得

（世界最高得点、特に「エネルギー」や「水」の分野で高い評価）

（ようこそ SAPP- RO 観光写真ライブラリー等から抜粋）

＜日本・北海道の中＞

○高い市民愛着度

・市民の札幌に対する愛着度は 95.7%

・他の自治体と比べて 80.7%と高い市民の定住意向

○住みよさ

・関東圏や近畿圏等と比べて通勤・通学時間が短い

・他の大規模自治体と比べて１か月当たりの家賃（住宅、オフィス）が安価

・民間調査機関（日経 BP）による住みよい街 2020、都道府県庁所在地別ランキング１位

○医療機関の集積

・人口 10 万人当たりの病院数は高い水準

○大学など研究機関の集積

・先端的な研究を推進する北海道大学、札幌医科大学などが集積

○高い都市ブランドイメージ

・民間調査機関（ブランド総合研究所）による魅力度ランキング２位

○日本一の食料自給率（北海道）、食の魅力

○観光満足度の高さ

・外国人だけでなく、日本人観光客の満足度も高い数値

○ICT 関連産業振興の歴史・企業集積

・1986 年に全国に先駆け、研究開発型団地札幌テクノパークを整備

○国からスタートアップ・エコシステム推進拠点都市に認定

○身近な文化芸術

・市民交流プラザ、芸術の森、Kitara など文化芸術関連施設が充実

（株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査 2020」）

項 目	1位	2位	3位	4位	5位
魅力度	京都市	札幌市、函館市		横浜市	小樽市
情報発信度	札幌市	新宿区	大阪市	渋谷区	京都市
居住意欲度	横浜市	神戸市	鎌倉市	札幌市	京都市
観光意欲度	札幌市、函館市		京都市	小樽市	富良野市
産品想起率(食品)	札幌市	夕張市	仙台市	函館市	松阪市

■Weaknesses（弱み）

○市民の健康寿命は全国平均以下

○１人当たりの市民所得の低さ

○女性、高齢者の有業率の低さ

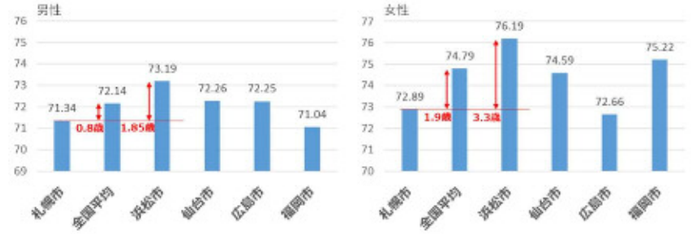
○男性、女性ともに長時間労働の傾向

○合計特殊出生率の低さ（20 市中 20 位）

○若年層の道外流出

○財政力指数（標準的な行政サービス提供のために、自治体が標準的に収入し得る財源の割合）が低位（20 市中 17 位）

（札幌市民の健康寿命：厚生労働科学「健康寿命研究」2016 年）



■Opportunities（機会）

○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ）

○2030 年冬季オリパラ大会の国内候補地に決定

○人生 100 年時代の到来、ライフシフト

○デジタル技術の急激な進歩（AI、Iot 等）

○国による Society5.0 の推進、デジタル庁設置の動き

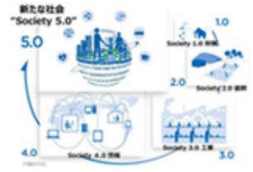
○気候変動等に伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素）

○2030 年北海道新幹線の札幌開業

○都市のリニューアル時期（社会的基盤の老朽化）

（札幌市障がい者コミュニケーション条例、手話言語条例）

（内閣府 HP：Society5.0）



■Threats（脅威）

○人口減少（特に生産年齢人口の減少）

○高齢者人口の増加

○税収の減少・社会保障費の増加

○地域意識や人間関係の希薄化

○子育てへの負担感の増加

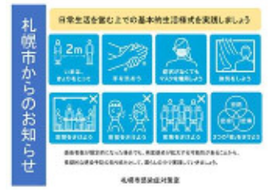
○子どもの貧困や虐待の増加・教育格差

○頻発する自然災害

○感染症のパンデミック

（胆振東部地震での道路陥没）

（札幌市 HP：新しい生活様式の実践）



資料５（参考）

SWOT 分析による基本目標の検討　R3.04.22　企画課

■Strengths（北海道・札幌が持つ強み・個性）

＜世界の中＞

○豊かな自然環境、年間６ｍの天然雪と共存する世界に類を見ない大都市
○冷涼な夏の気候（東京 2020 マラソン・競歩の開催地に IOC が決定）
○ウインタースポーツ都市としてのポテンシャル
　・1972 年冬季五輪をはじめ、国際的な大規模スポーツ大会の開催実績
　・IOC が求める持続可能なオリパラ開催が可能な都市
○環境面での高い評価
　・国内の都市として初めて、世界的な環境性能評価システム「LEED」で、最高ランク「プラチナ」認証を取得
　（世界最高得点、特に「エネルギー」や「水」の分野で高い評価）

（ようこそSAPP- RO 観光写真ライブラリー等から抜粋）

＜日本・北海道の中＞

○高い市民愛着度
　・市民の札幌に対する愛着度は 95.7%
　・他の自治体と比べて 80.7%と高い市民の定住意向
○住みよさ
　・関東圏や近畿圏等と比較して通勤・通学時間が短い
　・他の大規模自治体と比べて１か月当たりの家賃（住宅、オフィス）が安価
　・民間調査機関（日経 BP）による住みよい街 2020、都道府県庁所在地別ランキング１位
○医療機関の集積
　・人口 10 万人当たりの病院数は高い水準
○大学など研究機関の集積
　・先端的な研究を推進する北海道大学、札幌医科大学などが集積
○高い都市ブランドイメージ
　・民間調査機関（ブランド総合研究所）による魅力度ランキング２位
○日本一の食料自給率（北海道）、食の魅力
○観光満足度の高さ
　　・外国人だけでなく、日本人観光客の満足度も高い数値
○ICT 関連産業振興の歴史・企業集積
　・1986 年に全国に先駆け、研究開発型団地札幌テクノパークを整備
○国からスタートアップ・エコシステム推進拠点都市に認定
○身近な文化芸術
　・市民交流プラザ、芸術の森、Kitara など文化芸術関連施設が充実

■Weaknesses（弱み）

○市民の健康寿命は全国平均以下
○１人当たりの市民所得の低さ
○女性、高齢者の有業率の低さ
○男性、女性ともに長時間労働の傾向
○合計特殊出生率の低さ（20 市中 20 位）
○若年層の道外流出
○財政力指数（標準的な行政サービス提供のために、自治体が標準的に収入し得る財源の割合）が低位（20 市中 17 位）

■Opportunities（機会）

○価値観やライフスタイルの多様化（ダイバーシティ）
○2030 年冬季オリパラ大会の国内候補地に決定
○人生 100 年時代の到来、ライフシフト
○デジタル技術の急激な進歩（AI、Iot 等）
○国による Society5.0 の推進、デジタル庁設置の動き
○気候変動等に伴う地球規模での環境保全の動き（脱炭素）
○2030 年北海道新幹線の札幌開業
○都市のリニューアル時期（社会的基盤の老朽化）

■Threats（脅威）

○人口減少（特に生産年齢人口の減少）
○高齢者人口の増加
○税収の減少・社会保障費の増加
○地域意識や人間関係の希薄化
○子育てへの負担感の増加
○子どもの貧困や虐待の増加・教育格差
○頻発する自然災害
○感染症のパンデミック

S×O 強みを活かし機会を最大限に活用	S×T 強みを活かし脅威を切り抜ける
W×O 弱みによって機会を逃さない、弱みの克服	W×T 弱みと脅威による最悪の事態を回避